

須恵

2012
181号
MAY

平成24年5月2日発行

発行・編集責任者／議長 三角良人 所在地／〒811-2193 須恵町大字須恵771番地 TEL／092(932)1151(内線411 議会事務局) FAX／092(933)6579

なんば しょうと? 第4回 地域の特徴

旅石奉納祇園相撲

須恵町の地域の特徴や伝統行事等を紹介しします。そこで今回は、「旅石奉納祇園相撲」ってなんばしょうと?



小学生男子による取組



溝口 忠男 さん

藤 英寿 さん

旅石区高齢者クラブ「豊寿会」の溝口さんと藤さんにお話を伺いました。
奉納祇園相撲は、旅石八幡宮境内の土俵にて開催されます。(昨年は7月17日でした)

午後6時半になると、子どもたちが「お祇園さまのおまつりにおまいりください」と、ふれ太鼓を叩いて区内を回ります。

土俵上では、凛々しくまわしを締めた小学生男子の取組が始まり、熱戦に拍手や掛け声の大声援が送られ、大変盛り上がります。

また、健やかな成長を祈っての「赤ちやん土俵入り」も行われ、賑やかなひとときとなります。

旅石区の伝統行事として続けているこの奉納相撲は、昔は大人も相撲をとっていたようですが、今は子どもたち主体になつていますが、豊寿会の皆さんが行司をつとめたり、まわしを締めたりと、様

々な応援をしています。
地元の消防団も協力して、地域一体で子どもたちを盛り上げる祭になっていきます。

ここには、**神功皇后**ゆかりの伝説も残っているほどの歴史があります。また、戦国時代に高鳥居城落城の戦火に焼かれ、江戸時代の明和6年(1769年)に再建しました。その後、昭和50年に改築され今の姿になっています。

佐谷区(4月)・甲植木区(4月)・須恵区(5月)・乙植木区(7月)・上須恵区(7月)でも行われています。



ふれ太鼓の前に

編集後記

3月の終わり。「桜前線、桜の開花」など、桜に関する言葉を耳にしました。
桜は日本では、卒業や入学シーズンに代表される花であったり、新しい始まりの花であったりもします。日本人と桜は深いところまでつながっていると思います。

更に今年は、日本からアメリカに桜が贈られて100年の記念の年ということもあって、日本から沢山の方がアメリカを訪れているようです。そして4月は年度始まりの月。出会いと別れ、そして新たなスタートの時期です。
2012年春。私も桜を見て、何かを始めてみようと思うこの頃です。
百田 輝子

広報特別委員会

- 議長：三角 良人
- 委員長：今村 桂子
- 副委員長：合屋 伸好
- 委員：百田 輝子
- 委員：田ノ上 真

3月定例会 主な内容

75億7,000万円 平成24年度 一般会計予算を可決! 2▶

ここが聞きたい (一般質問) 6▶

なんばしょうと? (旅石奉納祇園相撲) 14▶

今後も、健全な 財政運営を！

平成24年第1回定例会は、3月2日から3月19日までの18日間で行われ、提案された議案32件は、原案のとおり可決・承認されました。

全員賛成で可決！

過去最高 75億7,000万円

平成24年度 一般会計予算

開会を宣言する三角議長

前年度比4億8千万円の増額予算

◆一般会計

平成24年度の一般会計当初予算は、歳入歳出総額75億7000万円が可決されました。

この予算には、25年度に開園を予定している第二幼稚園建設関係の事業費を含んでおり、前年度当初予算と比較すると4億8400万円の増額で、伸び率6.8%と、23年度に引き続き70億円を超える予算となりました。

歳入において、町税の個人住民税は、雇用・消費の動向が依然厳しい状況に変わりなく、若干の持ち直しを見込み2%の増とされていますが、固定資産税は、24年度が3年に1度の評価替えの年に当たることから3.6%の減となっています。

町税全体としては、0.4%の増、1020万円の増収を見込んでいます。

国家予算の2割を占める地方交付税は、政府の財政運営戦略・中期財政フレームに沿って、平成23年度と実質的に同水準となるよう確保されたことから、3.7%の

増となっています。歳入全体の財源不足については、

減債基金の取り崩し2億8000万円に対応しています。歳出については、不要な予算や効果があまり期待できない施策は抑制を図り、行財政改革を推進する予算となっています。

平成24年度各会計当初予算額

会計区分	H24年度予算額	H23年度予算額	比較(%)	可・否	
一般会計	75億7,000万円	70億8,600万円	6.8	全員賛成で可決	
国民健康保険特別会計	29億9,308万円	28億8,152万円	3.9	全員賛成で可決	
後期高齢者医療特別会計	2億4,541万円	2億3,250万円	5.5	全員賛成で可決	
公共下水道事業特別会計	11億767万円	10億5,665万円	4.8	全員賛成で可決	
農業集落排水事業特別会計	8,033万円	9,513万円	△15.6	全員賛成で可決	
水道事業	収益的支出	5億6,125万円	5億6,761万円	△1.1	全員賛成で可決
	資本的支出	2億1,254万円	2億8,298万円	△24.9	

人件費では、これまで職員数の削減に積極的に取り組んでおり、24年度の職員数は、特別職を含め144人、前年度と比較すると6人の減となっています。職員給与については、負担率の引き下げや職員数の減により1600万円の減額となりました。道路整備をはじめとする基盤整備事業などの普通建設事業費は、前年度と比較すると3倍の予算8億2600万円が計上されています。

主な事業として、第二幼稚園建設等の事業がおよそ5億円、道路改良等の土木事業がおよそ1億5000万円、文化会館・あおば会館周辺施設の公共下水道接続工事がおおよそ2300万円等、5億5000万円の増額となっています。

今後とも、安全で安心な住みよいまちづくりを目指し、なお一層気持ちを引き締めて、健全な財政運営に努めているか厳しくチェックしていきたいと思えます。

国保への流入増加

◆国民健康保険特別会計

平成24年度の国民健康保険特別会計予算は、歳入歳出総額29億9308万4000円で可決されました。

前年度と比較すると1億1156万2000円、率にして3.9%の増額となっています。

国民健康保険は、少子化や後期高齢者医療制度への移行の影響と、経済の低迷が長期化しリストラによる失業者の国保への流入が増加しています。

また、他の保険制度に加入しない低所得者や、75歳未満の前期高齢者を多く抱えるという構造的な問題を抱えています。須恵町国民健康保険の財政安定化を図り、町民皆保険を堅持し、将来にわたる持続可能なものとしていかなければなりません。

良質な水を安定的に

◆水道事業会計

収益的収支予算の収入額は、5億8237万円で、前年度と比較すると0.8%の増額となっています。

支出額は、5億6124万5000円で、前年度と比較すると1.1%の減額となっています。

これは、企業団への受水費、人件費並びに企業債の支払利息等の減によるものです。

24年度は2112万5000円程度の利益剰余金が見込まれます。23年度、須恵ダムに泥水が流れ込み水が濁ったため、緊急対応策として防護膜を設置しましたが、良質な水を安定的に供給できるよう、24年度は第二浄水場の基本計画策定業務委託料が予算化されています。

資本的収支予算の収入額は、5000万円で、前年度と比較すると50.5%の減額となっています。これは、石綿管改良工事に伴う企業債及び国庫補助金の減によるものです。支出額は、2億1253万6000円です。



泥水防護膜が設置された須恵ダム

※損益勘定留保資金

現金支出を伴わない減価償却費や資産減耗費など、水道企業の内部に留保される資金のことです。収入が不足する場合の補てん財源となります。

平成24年度 事業の目玉

◆は、平成23年度からの繰越事業

建設産業課

- ◇旅石原中地区ポケットパーク整備事業 4,500万円
- ◇城山上組2号線、4号線道路改良工事 3,500万円
- ◇地域振興イベント（軽トラ市）補助金 80万円



ポケットパーク整備予定地

まちづくり課

- ◇スポーツ公園内県有地取得費 700万円
- ◇コミュニティバス運行費 1,640万円



コミュニティバス

税務課

- ◇コンビニ収納業務取扱 183万円

健康福祉課

- ◇DV・自殺対策 157万円
- ◇障がい児放課後預り 618万円
- ◇シルバー人材センター補助金 710万円
- ◇子宮頸がん予防ワクチン 1,362万円
- ◇ヒブワクチン 1,168万円
- ◇小児用肺炎球菌ワクチン 1,825万円
- ◇がん検診 2,310万円
- ◇地域包括支援センター運営費 2,948万円

総務課

- ◇庁舎空調設備等改修工事 1億300万円
- ◇住民記録システム改修 2,182万円
- ◇子どものための手当システム改修 617万円
- ◇町勢要覧作成 95万円



庁舎内に開設された地域包括支援センター

上下水道課

- ◇公共下水道事業 ほか6件 3億8,550万円
- ◇水道事業 火焼～柴原線水道管改良工事 ほか7件 1億3,000万円



大島原地区

子ども教育課

- ◆第二幼稚園（仮称）造成工事請負費 2,800万円
- ◇第二幼稚園（仮称）建設工事請負費 4億7,000万円
- ◆須恵中学校耐震補強工事請負費 1億3,707万円
- ◆須恵中学校耐震補強工事監理業務委託料 222万円
- ◇第二小学校屋外遊具撤去工事請負費 320万円
- ◇第三小学校創立20周年記念事業費 20万円



須恵中学校

社会教育課

- ◇文化会館下水道排水設備工事 740万円
- ◇図書館防犯カメラ機械警備委託 61万円
- ◇武道場トイレ改修工事 150万円
- ◇あおば会館周辺施設下水道排水設備工事 1,574万円
- ◇テニスコート人工芝メンテナンス 32万円



武道場



答弁中の中嶋町長

保護者の負担軽減を

25年度から実施予定

問

小学校入学時には多くの物品購入があり、保護者にとって大きな負担となっています。そこで「算数のおけいこセット」を町費購入し、学校の備品として授業で使用させ、保護者負担の軽減を図ってはどうでしょうか。

答 平松教育長

小学校で使用する算数のおけいこセットについては、25年度から学校備品として備蓄する方向で検討しています。

24年度中に最終調整を行い、12月議会で補正予算を計上するよう考えています。



小学校入学時に購入する算数のおけいこセット(さんすうぼっくす)

制服のリユース促進を

広報活動を支援していく

問

教育にかかる費用を少しでも節約したい。そんな思いから、学校ぐるみでお下がりの制服や体操着を譲り合う取り組みが広がっています。

不要になった人と必要な人をつなげる試みが支持され、教育委員会が制服のリユース(再利用)に取り組むところも出てきました。

厳しい経済状況の中で、家計の支援と子どもたちに物を大事にする心を養うことを目的として中学校の制服および近隣の高等学校の制服のリユースを、子ども教育課が窓口となって行っているのでしょうか。

答 平松教育長

制服のリユースについては、大賛成です。

しかし、それを行政サービスとして行うのは、本町の教

育施策である、感動・感謝・共感を生む教育のまちづくりにはつながらないと思います。

須恵町としては学校と保護者による活動が最も意義あるものと考えており、中学校の制服あるいは高校の制服も含めて、学校・保護者・PTAの協力によるシステムをつくり、教育委員会としては、このシステムが普及するよう広報活動をしていきます。



制服リユースを行っている古賀市教育委員会の窓口前

予防医療の拡充を

関係機関と連携して

問

予防重視の医療を目指す観点から質問します。

①昨年、厚労省は胃がんとピロリ菌との関係を認めました。これは、ピロリ菌を駆除することで胃がんの発症を劇的に減らせるという画期的なものです。未だ保険適用には至っていませんが、先駆的に実施している自治体もあります。須恵町としてはどうお考えでしょうか。

②厚労省は従来の四大疾患(がん・脳卒中・心臓病・糖尿病)に精神疾患を加え五大疾患とする方針のようですが、須恵町における精神医療の現状と対策について伺います。

答 吉松健康福祉課理事

①胃がんの発症とピロリ菌は因果関係があります。一般検診による早期発見、抗生物質の服薬によるピロリ菌の除菌、予防対策の啓蒙等が必要です。国の動向を見ながら、町内医師会と協議を重ね、任意検診という形で進めていきたい。

②精神医療の現状と対策は、本町も多数の患者がおられ非常に難しい問題をいろいろと抱えています。今後、粕屋中南部で地域自立支援協議会を開設する準備に入ったところです。4月1日から町で開設する地域包括支援センターとも連携を取りながら、精神の保健衛生にも取り組んでいきます。



田ノ上 真 議員

LEDによる節電を

今後も進めていきたい

問

照明のLED化について質問します。

昨今、原発停止による電力供給の減少で、節電が国民的課題になっています。

町で設置している照明(庁舎・学校・街路灯・防犯灯など)を順次LED化していくことで、節電に寄与するものと考えます。

特に防犯灯においては、九電が新料金に改定したことで導入しやすいと思います。

町長のお考えはいかがでしょうか。

答 中嶋町長

23年度に、国の地域活性化きめ細やかな交付金を利用して、防犯灯および街路灯について、交換60カ所、新設130基のLED化事業を実施しました。24年度は庁舎一階部分の蛍光灯の交換を計画しており、25年度以降も節電対策として、公共施設には順次LED化を進めていきます。



庁舎一階の様子

小学校校区の見直しを

通学特区を検討

問

人口変動の推計の公表が相次いでいます。中長期的な人口減少と超高齢化が、日本全体で加速的に進む見通しです。須恵町の人口は微増ですが、地区によって片寄っています。地域の課題を、地域住民が主体となって解決できる街づくりを目指すため、行政区の枠に捉われない小学校区再編についての考えをお尋ねします。

答 平松教育長

基本的な考え方としては、あくまでも現在の3校区割りは順守したいと考えています。そのうえで、通学距離や安全性を考え、校区の変更を行った方が適切な地域を通学特区として指定し、校区の変更を予定しています。24年度中に関係行政区、子ども会育成会、PTAそれぞれの役員の方々と協議のうえ進めたいと考えています。その協議の中で、子ども会活動の基盤が大きな問題にな



原野 敏彦 議員

るかと思いますが、須恵町は以前から校区コミュニティを進めていますので、子ども会育成会活動についても今後の

在り方を、社会教育課、まちづくり課を含めて協議していきます。



創立20周年を迎える須恵第三小学校

第二幼児園の運営方法は

公設公営でスタート

問

第二幼児園の造成工事も23年度から始まり、いよいよ25年4月の開園に向けて着々と工事が進行中です。子どもたちは新しい第二幼児園に入るのを楽しみに待っています。運営方法について今一度どのようにお考えか、町長の答弁をお願いします。

答 中嶋町長

当初は民設民営で計画していましたが、国の総合子ども園施策の動向、土地の譲渡所



田原 重美 議員

得に対する優遇措置等の関係で、開園当初は公設公営で出

発し、国の動向を見ながら民営化に移行していきたいと考えています。

保育所の定員が31名増員になり、幼稚園は3歳児保育ができますので、25名のクラスが1増となり、幼稚園の完全給食も実施します。

一体化までは原則として合同保育や合同の行事は行わず、幼稚園、保育所それぞれで行うようにしています。

幼稚園バスの運行を

導入は難しい

問

幼稚園バスの質問です。近年の地球温暖化、ラニーニャ(※)の影響で豪雨は多く、夏は暑く、冬は極端に寒い、今日この頃です。

幼稚園の子どもたちの通園は大変だろうとお察しします。

町民のニーズに対応するために、幅広い公共的なサービスを提供することが期待されています。いかがお考えですか。

答 平松教育長

25年度に、かやの保育所と東幼稚園が統合され5施設での運営を開始します。保護者の方々がそれぞれの園の特徴などを吟味し、希望される施設に入園できる自由選択制を採用しています。そこで園児バスを導入し、須恵町全体を網羅して希望される施設への送迎となると、時間的・人的配置および導入バス台数等の問題があり、不平等が生じるため、現時点での園児バスの導入は考えていません。



工事が進む第二幼児園

※ラニーニャ現象 世界的な異常気象のひとつ。専門家の中にはこの現象が起こるとその年の夏は猛暑になると考える人もいます。

一般質問のその後

一/般/質/問

どげんなっとうと?

5

復活!! 青年団

時代のニーズに即して

問

昨年3月11日の未曾有の大震災から早1年が経過しました。

先の見えない復旧・復興、被災者の心痛を察するに痛恨の極みに堪えません。

この震災で、私たち日本人に故郷への想と情、思い出された「絆」と「共助」を見直す機会を与えてくれました。

その昔、本町でも昭和48年に大水害が発生し、壊滅的な打撃を受けました。その時に活躍されたのが消

防団であり、婦人会や青年団の組織でした。

どうしても今回の震災と重複して映ります。

今こそ教訓を活かすチャンスと思いますが、町長の見解を聞きたいと思います。

答 川津社会教育課長

粕屋地区の青年団及び婦人会の存続状況ですが、青年団は4町にあり、団員数は宇美町12名、粕屋町25名、篠栗町8名、久山町2名で、本町を含め1市3町が解散しています。



藤石 豊 議員

婦人会は2町にあり、会員数は宇美町60名、粕屋町37名で、1市5町が解散しています。

須恵町の青年団は平成8年に団員数の減少等により解散、婦人会は、平成4年に地域意識の希薄化、急激な社会構造の変化により、その歴史に幕を下ろしています。

答 中嶋町長

時代のニーズに即した、必要性のある自主的な団体が組織されるようなときは、行政は全面的に支援していきます。例えば、自主防災組織などであれば行政はサポートしますが、これまでのような青年団、婦人会の活動では復活は難しいと思っています。



婦人会解散後に建立された石碑 (アザレアホール横)

過去の一般質問の状況を追ってみました。

どうなった?

国民健康保険証のカード化は

問

国民健康保険証カード化の実施に向け、早期実現がでないかお尋ねします。

答 安部住民課長

今まで原則1世帯に1枚配付していた保険証を1人に1枚配付することにより、各々が常時携帯でき、1世帯の家族の方が同時に別の医療機関で受診できることや、旅行時や学生等が一時的に町を離れる場合等、非常に利便な点があります。

しかしその反面、発行枚数が増え費用がかかることも紛失等による事故等も懸念されます。



新しい国民健康保険証 (サンプル)

実施にあたっては、いくつかの問題点もあることから、国保連合会・近隣市町村や医師会との連携を図りながら、被保険者の利便性の向上を図るため、カード化に向けて課長会並びに係長会において、さらに検討していきます。(平成17年6月定例会)

◇その後◇

平成24年度から国民健康保険証のカード化を実施しています。

1人1枚の保険証となったことにより、被保険者の利便性が高まりました。

また、カード裏面には、個人ごとに臓器提供の意思表示をするための記載欄が設けられています。

国民健康保険証は、平成13年の健康保険法施行規則改正において、原則として1人1枚のカード様式とすることが規定されましたが、須恵町では、事務の煩雑化・コスト面

等を考慮して、世帯ごとの保険証を使用してきました。しかし、古賀市が平成23年度からカード化を実施することとなったほか、粕屋医療圏におけるサービスの均一化等を考慮し、須恵町を含む糟屋郡内7町も平成24年度からの実施に向けて準備・検討を進めてきました。

須恵町のほか宇美町・志免町・新宮町および篠栗町が同一の電算システムを利用しており、各町のカード様式を統一することで、システムの改修費用が抑えられ、保険証の大量発注ならびにコストの軽減が可能となったため、24年度からの実施となりました。

議案名	可・否	議案名	可・否
平成23年度須恵町水道事業会計補正予算(第2号)の専決処分について	全員賛成	財産の取得の変更について	全員賛成
須恵中学校耐震補強工事の施工について	全員賛成	須恵町子宝応援手当支給条例を廃止する条例の制定について	全員賛成
須恵町営住宅管理条例を廃止する条例の制定について	全員賛成	単純な労務に雇用される職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例	全員賛成
須恵町税条例の一部を改正する条例	全員賛成	須恵町学校施設開放の管理運営に関する条例の一部を改正する条例	全員賛成
須恵町立社会体育施設の管理運営に関する条例の一部を改正する条例	全員賛成	須恵町社会教育委員に関する条例の一部を改正する条例	全員賛成
須恵町立美術センター久我記念館の設置及び管理運営に関する条例の一部を改正する条例	全員賛成	須恵町文化会館の設置及び管理運営に関する条例の一部を改正する条例	全員賛成
須恵町都市計画下水道事業受益者負担に関する条例の一部を改正する条例	全員賛成	町営路線の区域の変更について	全員賛成
町営路線の認定について	全員賛成	第二幼稚園建設工事の施工について	全員賛成
社会教育施設下水道排水設備工事の施工について	全員賛成	土木工事の施工について	全員賛成
下水道工事の施工について	全員賛成	水道工事の施工について	全員賛成

平成23年度 歳入歳出補正予算 (単位：千円)

会計	歳入・歳出	補正額	予算総額	可・否
一般 (第4号)	歳入	178,329	8,085,690	全員賛成
	歳出			
国民健康保険 (第3号)	歳入	△ 47,367	2,977,651	全員賛成
	歳出			
後期高齢者医療 (第2号)	歳入	△ 9,052	230,109	全員賛成
	歳出			
公共下水道事業 (第2号)	歳入	△ 24,073	936,818	全員賛成
	歳出			
農業集落排水事業 (第2号)	歳入	△ 2,173	94,317	全員賛成
	歳出			
水道事業 (第3号)	収益的	収入	—	全員賛成
	資本的	支出	△ 11,230	
		収入	△ 38,000	
	支出	△ 32,000		



作・田原ウーゴ
1979年須恵町生まれ、イラストレーターとして福岡を中心に九州・東京の広告やメディアで活動中。http://www.wococo.net/

シリーズ 議会用語

「質問／質疑」とは？

町議会においては、町政全般に関して町側（執行部）の見解をただす行為を質問と呼び、会議（本会議、委員会等）の場で議題となっている案件について疑義をただす行為を質疑と呼びます。

お知らせ

町議会の活動状況を知るために、どなたでも傍聴できます。申し込みの受付は、役場4階議会事務局で行っています。
なお、次の定例議会は6月14日からの予定です。

議 | 長 | 通 | 信

Chairperson Communication



三角 良人 議長

がん治療に光明

がん粒子線治療を行っている「メディアポリス指宿」の視察研修に行きました。
この施設はがんや血管病変による慢性疾患の治療や予防医学、このころのケア等に関する研究が行われている九州初の施設です。
粒子線治療とは原子核などの粒子を体内に照射し、正常な細胞にほとんど影響を与えないこと無く、がん細胞のDNAを攻撃するもので、通常の放射線治療に比べ身体的な負担はほとんど無いそうです。
治療期間は早期の肺がん・肝臓がん準備（計画）1週間＋治療2週間、前立腺がん7～8週間程度、毎日

の治療は準備を含めて20分程度、そのうち粒子線照射は1分位で済みます。
体を切開することなく治療を行うことができます。その他の時間は施設内の温泉、運動施設又は近くのゴルフ場でゴルフを楽しんだりして過ごせるそうです。
ただし、保険が適用されないので288万3000円の治療費がかかります。（先進医療特約付き保険だと支払われるかも）。
現在、粒子線施設は全国で8カ所あり、新たに佐賀県鳥栖市に建設中です。
このような治療研究がさらに進み、「がん」が「必ず治る病気」になることを願うばかりです。

委員会レポート a committee report

総務建設産業委員会



農業委員会との意見交換会

平成24年2月7日に農業委員会と当委員会の意見交換会を行いました。
合同で佐谷地区農地の現状を見て回り、山沿いで放置された田や区画整備された中での遊休地が多々あり、今後の課題だと痛感しました。
農業委員会より、山間部では鳥獣の被害対策、草刈り等に手間がかかることや、農家の高齢化・担い手の減少等について報告がありました。
平田部の農地は、1年間で約2ヘクタールが宅地に地目変更されています。
また、対策について農家への管理指導や補助金の検討等、多数の意見が出されました。
農業委員会と議会が課題を共有して農業の発展と農地を守っていくことで、今後も会議を継続していきます。

文教厚生委員会



現場を視察する議員団

第二幼稚園の建設工事（園舎の建築・庭園整備）を平成24年5月から平成25年1月の工期で行います。
L字型木造平屋建て、延べ床面積1999・31㎡（604坪）で、屋根に太陽光パネルを設置する予定です。
また、園庭を有効活用するため、旅石宮ノ下の信号角地164・17㎡を600万円を追加取得し、89㎡の大型倉庫を配置します。